

赤坂・京都迎賓館参観経費 ロジックモデル

事業の目的：赤坂及び京都迎賓館について、平成28年度より観光振興にも資する観点から、現役の迎賓施設としての品格を維持しつつ、歴史的・文化的価値を活用するため、接遇等に支障のない範囲で通年で一般公開を実施し、その魅力を広く発信することを通じ、迎賓施設への理解促進を図るとともに参観者の満足度を高めることを目的とする。

インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム	インパクト
予算額 【29年度】1,122 【28年度】1,142 (単位:百万円)	接遇等に支障のない範囲で魅力ある一般公開の通年実施	接遇等に支障のない範囲で可能な限り参観機会を確保	参観環境に配慮した上で可能な限り1日の参観機会を確保	参観者の満足度を高めるとともに迎賓施設への理解促進
<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府設置法第4条第3項第34号 ・内閣府本府組織令第36条 ・内閣府本府組織規則第43条～第53条 ・迎賓館の施設に係る参観料の徴収に関する内閣府令 	「明日の日本を支える観光ビジョン」(平成28年3月30日明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定) 観光立国推進基本計画(平成29年3月28日閣議決定)	公開日数 平成28年度(初年度)実績 赤坂迎賓館:187日 京都迎賓館:125日 ※H28.7から一般公開 平成29年度実績 赤坂迎賓館:249日 京都迎賓館:243日	1日平均参観者数 平成28年度(初年度)実績 赤坂迎賓館:4,092人 京都迎賓館:762人 ※H28.7から一般公開 平成29年度実績 赤坂迎賓館:2,493人 京都迎賓館:530人	参観の満足度に関するアンケート結果 参観の不满度 平成28年度(初年度)実績 赤坂迎賓館2.8% 京都迎賓館4.2% 平成29年度実績 赤坂迎賓館2.9% 京都迎賓館3.6%

手段と目標の因果関係に関する検討の結果

一般公開を通年で実施し、参観者のニーズに応じた参観の機会を確保するとともに、参観環境を整備することにより、迎賓館への理解が促進され、参観者の満足度が向上する。

【1】課題把握・目標設定

- ・従来は、年間 10 日程度の限定的な一般公開であり、迎賓館の魅力が国民等に伝える機会が少なかったところ、接遇等がないときにはいつでも参観できるようにするため、可能な限り通年で一般公開を実施（平成 28 年度公開日数：赤坂 187 日、京都 125 日[※]）。公開日数を年間約 250 日と設定。
※京都は平成 28 年 7 月から公開開始。
- ・一般公開における 1 日当たりの平均参加者数の目標値は、参観機会を最大限確保し、また、適切な参観環境を維持することを前提として参観者数を設定すべきところ、通年公開の 2 年目である平成 29 年度については、前年度[※]の実績値を暫定的に目標値として設定（赤坂迎賓館：4 千人、京都迎賓館：2 千人(自由参観方式)、750 人(がっつり方式)）。
※平成 28 年度は、通年公開初年度であることに留意。
- ・一般公開における参観者のうち、アンケートで「やや不満、不満」と答えた人の割合の平成 29 年度の目標値は 10% 以下と設定。

【2】政策手段の比較・検討

- ・迎賓館の魅力を広く発信し、その理解促進を図り、参観者の満足度を高めるには、HP や SNS 等を活用した情報発信や広報なども考え得るが、事業の目的が一般公開の実施そのものであることに加え、情報発信や広報も一般公開を実施することによって、その効果を最大限に発揮できることから、一般公開と一体的に実施しているところ。

【3】手段と目標の因果関係の検討

- ・一般公開を通年で実施し、参観者のニーズに応じた参観の機会を確保するとともに、参観環境を整備することにより、迎賓館への理解が促進され、参観者の満足度が向上する。

【4】効果の測定

- ・平成 29 年度の一般公開においては、年間約 250 日の公開を実施し、参観者のニーズを踏まえた参観機会を確保した。
- ・平成 29 年度の 1 日当たりの平均参観者数は、前年度実績値を下回ったものの、平成 28 年度（通年公開初年度）のような、事前予約や整理券なしには参観が困難となる状況や館内の混雑などの参観環境については、公開日数の大幅な増加や通年公開 2 年目となり参観者数が落ち着いてきたことなどにより、改善されつつある。
- ・平成 29 年度の一般公開における参観者のうち、アンケートで「やや不満、不

部局名：迎賓館

EBPM 対象事業名：赤坂・京都迎賓館参観経費

満」と答えた人の割合は、赤坂迎賓館において 2.9%、京都迎賓館において 3.6%となった。

- 今後とも不満の一層の解消に努め、参観者のニーズに応じた一般参観を実施し迎賓館への理解促進を図る。